



市内の高校生も参加した水中ロボット競技、熱い戦いだったー



海洋ゴミ問題を考えて制作したポスター発表会



全国から集まった学生のロボット競技は発想も技術も見応え抜群！



岩国海洋環境試験評価衛星

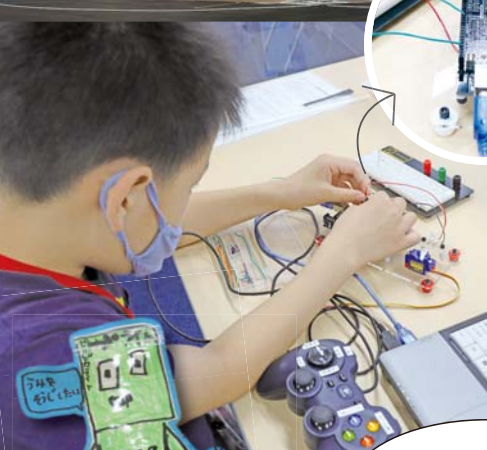
Iwakuni City Topics まちの話題

水中ロボットと海を考えた3日間

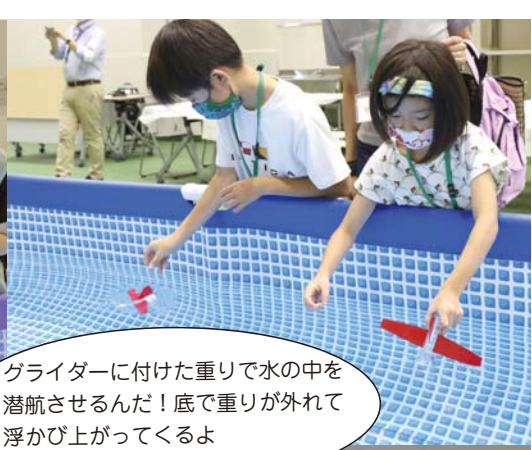
8月26日～28日に、通津沖工業団地に整備された防衛装備庁岩国海洋環境試験評価衛星で「水中ロボットワークショップ」と水中ロボットフェスティバルin岩国が開催されました。ワークショップでは教育用水中ロボットを動かすためのプログラミング学習や操作体験、水中グライダーの組み立てと潜航実験が行われ、参加した小中学生は楽しく科学と触れ合う体験をしました。

水中ロボットフェスティバルでは特設プールで海洋ごみに見立てた発泡スチロールを回収するロボットの競技や施設内の深さ11メートルの大型水槽で高度な自律性能を搭載した水中ロボットの競技を行いました。

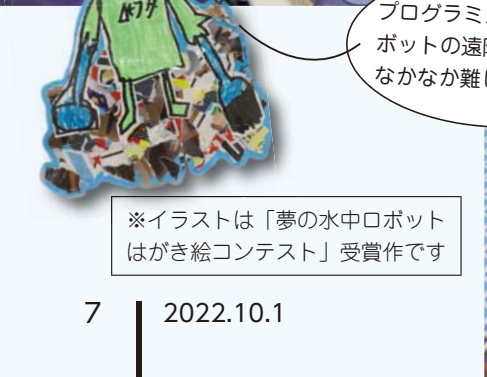
全国から集まった学生たちは、イベントを通してロボット開発に必要な知識やアイデア実現のために工夫することなどを学びました。



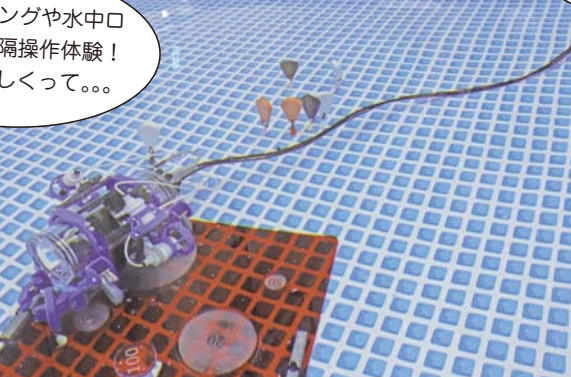
プログラミングや水中ロボットの遠隔操作体験！なかなか難しくて。。



グライダーに付けた重りで水の中を潜航させるんだ！底で重りが外れて浮かび上がってくるよ



※イラストは「夢の水中ロボットはがき絵コンテスト」受賞作です





給食に感謝しよう！ 舞台劇「給食番長」

7月31日、玖珂こどもの館で、舞台劇「給食番長」の公演が行われました。この舞台は新型コロナウイルス感染症の拡大により何度も延期された舞台で、地域の多くの人が今回の公演を待ち望んでいたものです。

公演終了後は、たくさんの笑顔があふれ、参加者からは盛大な拍手が送られました。



デジタルスタンプラリー&こども絵画展

8月1日～31日まで、J R岩徳線各駅で「J R岩徳線デジタルスタンプラリー」と、玖珂駅と周防高森駅で「J R岩徳線沿線こども絵画展」が実施されました。駅ではスマートフォンを片手にスタンプラリーを楽しんだり、子供たちが自由な発想で描いた理想の岩徳線の絵を眺めたりする光景が見られました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



みんなでドローンを操縦してみよう！

8月8日、本郷小中学校で、ドローン教室が開催されました。参加者は2班に分かれて小型ドローンの操縦体験を行い、最初は慣れないドローンの操作に苦戦しながらも、何度もチャレンジを繰り返し、最後には紅白の輪っかを上手にくぐり抜けるほど上達していました。



ふるさとのつながり

8月14日、錦町の旧深須小学校で深須地区の盆の集いが開催されました。来場者は地元の人たちが用意したゲームの屋台やお楽しみ抽選会、打ち上げ花火などの催しを楽しみました。集いに集まった人は、久しぶりにふるさとに帰省した人との再会を喜び合い、思い出話に花を咲かせて、楽しい夏のひとときを過ごしました。



四季を楽しむ 折り紙教室

8月22日、休校中の美川小学校で、小学生と大人の「折り紙教室」が開催されました。当日は大小7枚の折り紙を立体的に組み合わせ、おしゃれな秋模様の和傘を作りました。参加者は完成した作品を見せ合い「家のインテリアとして飾りたい」など会話を弾ませながら、ケースに入れた作品を大切に持ち帰りました。



みんなで花火を眺めて

8月14日、美和町坂上西部地区で「戦没者追悼花火大会」が開催されました。この花火大会は4年ぶりの開催で、来場者は家族や友人と一緒に西部ふれあいセンター周辺に集まり、渋前川沿いから絶え間なく打ち上がる花火を眺め、夏の風情を楽しんでいました。



わくわくドキドキ！ 調査船に乗ったよ！

8月29日、由宇町の南沖で「調査船の中で学ぼう！瀬戸内海の豊かさ」が開催されました。豊潮丸に乗船した参加者は、船内で微生物採取や水質調査体験をしたり、操舵室や機関室などの船内探検を楽しんだりしました。参加した子供たちにとって、わくわくが止まらない夏の思い出となりました。



スイスの伝統楽器 アルプホルン

8月26日、周東町の総合センター日向で、アルプホルン演奏会が開催されました。演奏者に蔵田亜由美氏を招き、スイスの伝統楽器で日本での奏者が数少ないアルプホルンやフレンチホルンを使い、童謡やスイスの曲などの演奏が披露されました。来場者は心地の良いホルンの音色にうっとりとし、耳を傾けていました。